

Weekly Report

2026.06.11
No. 3174

ROTARY CLUB OF MOKA

2025～2026年度 国際ロータリー第2550地区 真岡ロータリークラブ

ID13862 真岡

Rotary



UNITE
FOR
GOOD

よいことのために手を取りあおう

真岡ロータリークラブ 柳田尚宏 会長メッセージ「原点回帰！」

■本日のプログラム

■司会 副 SAA

■点鐘

■ロータリーソング

■ゲスト

会長幹事総括

沼田 雄一君

柳田 尚宏君

我らの生業

ライオウティンさん

みをご報告させていただきます。お忙しい時期とは存じますが、来週が最終例会となりますので、多くの会員の皆様にご出席いただければ幸いです。

さらに、明日には2026年ロータリー国際大会に当クラブから参加される会員がいらっしゃいます。世界各国のロータリアンとの交流を通じて、多くの学びと友情を育ていただき、無事に帰国されることを願っております。どうぞ健康に留意され、国際大会を存分に楽しんでください。

今年度の締めくくりをしっかりと行い、次年度へ良い形でバトンを渡せるよう、最後まで努めてまいりますので、よろしく願いいたします。本日も限られた時間ではありますが、有意義な例会となりますことを願い、会長挨拶とさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

■会長挨拶

柳田 尚宏 会長

皆様、こんにちは。本日もご多忙の中、当会にご出席いただき、誠にありがとうございます。今日は米山奨学生のライオウティンさんが参加しております。



早いもので、6月も中旬となり、本年度の例会も残りわずかとなりました。この一年を振り返りますと、会員の皆様にはクラブ運営に対して多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。私たち真岡ロータリークラブにおいても、親睦の場で育まれる信頼関係がクラブの大きな力となっていると感じております。奉仕の理念を实践する上でも、会員同士の絆は欠かせません。その積み重ねが、地域へのより良い奉仕につながると考えております。

また、本年度もいよいよ終盤を迎え、今日の例会では会長幹事総括を予定しております。一年間の活動を振り返りながら、皆様への感謝の気持ちとともに、本年度の取り組

■米山記念奨学金授与 米山奨学生ライオウティンさん

皆さん、こんにちは。近況報告として2つの話をさせていただきます。

一つ目は、先週栃木県の日台親善協会に招待され、親善会の食事会に参加しました。この

会には、栃木県議やロータリアン、台湾からの外交官も出席していました。食事会の中で、台湾の外交官が最近の台湾情勢について詳しく話してくれました。ちょうど僕も同



MAKE UP 会場案内

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
宇都宮 90：東武ホテルグランデ 小山中央：思水荘 真岡西：フォーシーズン静風	宇都宮：東武ホテルグランデ 宇都宮東：ホテルニューイタヤ 小山南：小山グランドホテル	益子：益子カントリー 下野上三川：石橋商工会館 小山北：和風ダイニング彩華	宇都宮西：東武ホテルグランデ 宇都宮北：ベルビィ宇都宮 小山：小山グランドホテル	小山東：小山グランドホテル

会長：柳田 尚宏 幹事：坂本 光 会報委員：平石典嗣 中島弘司 市村滋朗 相場一宏

事務局：〒321-4305 栃木県真岡市荒町 1203 (真岡商工会館内) TEL.0285-84-2511 FAX.0285-84-2510

URL: <http://rc-moka.jp/> E-mail: rc-moka@sweet.ocn.ne.jp

じようなテーマで勉強していたため嬉しく思いました。
二つ目は、宇都宮で熊が目撃され、学校で授業が休校となった。熊は午後には捕まったが、他にも熊がいる可能性があるため、翌日も授業はオンラインでした。最終的には問題が解決して安心しました。

■スマイルボックス報告

西村 英人君

柳田 尚宏君

本日は会長幹事総括となっております。残すところ今日を入れて2回となりました。来週の最終例会には多くの会員に参加していただけたらと思います。ライ君ようこそ。

坂本 光君

ライ君にいらっしゃい。本日はよろしくお願ひします。

渡邊 佳寛君

柳田会長、坂本幹事、総括誠に疲れ様です。今日のお話を胸に刻み、次年度頑張ります。ライ君いらっしゃい。

宇賀神 裕一君

柳田会長、坂本幹事一年間お疲れ様でした。最終例会は職業奉仕のため欠席となりますので、本日最後となります。すみません。

金子 正男君

会長、幹事総括を拝聴します。

中川 宏行君

柳田会長、坂本幹事、一年間お疲れ様でした。やり残したことはありませんか。

沼田 雄一君

先週は結婚記念のお祝いをいただきありがとうございました。とても綺麗なお花で、妻も大変喜んでおりました。梅雨に入り、体調を崩しやすい時期です。会員の皆様、くれぐれもお体を大切にお過ごしください。

■会長総括

柳田 尚宏 会長

本日は2025年度、2026年度の会長総括として、1年間の活動を報告させていただきます。本年度の目標は「原点回帰」としました。三年後に70周年を迎えるにあたり、その前段階としてクラブのあり方を改めて見直し、新しい真岡ロータリークラブへ進化させるためにはただ新しくするのではなく、歴史と伝統を大切に守りな



がら次の時代へとつなげていく土台づくりをする一年にしたいと考え、このテーマを掲げました。

そして、ロータリーの原点である「親睦」と「奉仕」の2つを改めて見つめ直し、足元を固める一年としてスタートしました。2025年7月3日、新年度の始まりに際し、大前神社にて祈願祭を執り行い、その後の初年例会では原点回帰の理念を共有し、地域に必要とされるクラブを目指す決意を会員全員で確認しました。

8月7日のガバナー公式訪問では、クラブ運営や活動方針についてご指導いただき、ロータリーの使命、そして公共イメージの向上の重要性を再認識する大変有意義な会議となりました。親睦事業では、8月21日に納涼例会を開催し、家族との団らんや交流のひとつを楽しみました。また、8月30日にはバーベキュー例会を開催しました。会議やご家族と過ごす時間は、クラブの結束を深める大切な機会であると改めて感じました。

10月17日の老人障がい者合同スポーツ大会は、地域奉仕活動として継続している事業で、約800食の豚汁を提供し、競技にも参加させていただきました。地域の皆様とともに汗を流し、笑顔を共有することが私たちの奉仕の原点であると再確認しました。11月1日から4日には、姉妹クラブである斗六ロータリークラブを公式訪問しました。長年の交流が評価され、柳会員と中川パスト会長が親善大使として任命されるという大変光栄な機会となりました。また、姉妹クラブ委員長の横松会員のご尽力もあり、交流の絆をさらに深める有意義な訪問となりました。国際交流というロータリーの柱を今後も大切にしていきたいと思います。

12月25日には忘年家族例会を開催し、婦人やお子さん、お孫さんにも多数ご参加いただき、一年間の活動を振り返りながら感謝と労いの時間を共有しました。2026年1月8日の新年例会では、後半戦に向けて決意を新たにしました。また、年男の6名の皆様のさらなるご健勝と御多幸をご祈念申し上げ、新年例会を執り行いました。さらに新たに河原隼人さんをお迎えし、バッジ授与式を行いました。9月には高波真吾さん、10月には当クラブ初の女性会員となる成瀬美奈子さんをお迎えすることができ、会員増強にもつながりました。会員増強はクラブの未来そのものです。多様性のある組織づくりを進めながら、より魅力あるクラブを目指していけたと思います。

1月10日、11日には第42回真岡ロータリークラブ争奪少年サッカー大会を開催しました。これは長年にわたり継続している青少年健全育成事業の一つであり、地域の子

どもたちを応援する大事な大会です。私たちは未来を担う世代への支援が地域への最大の投資であると考え、今後もこの活動を継続できるよう頑張っています。

1月15日には斗六ロータリークラブ第2000回例会記念式典に参加し、歴史ある節目の時を迎えられたことを大変光栄に思います。私自身、斗六訪問は今回で10回目となりますが、親善大使の任務をいただきました。継続の力と友情の積み重ねこそがロータリークラブの大きな財産であると実感しました。

2月22日のインターシティミーティングは真岡ロータリークラブ、益子ロータリークラブ、真岡西ロータリークラブ、下野ロータリークラブ、そして下野ロータリークラブの親クラブである小山東ロータリークラブにも参加いただき、総勢約160名の盛大な開催となりました。また、コメンテーターとして元埼玉県警察本部刑事部捜査一課の佐々木成美さんから最新の防犯マニュアルに関する講話をいただきました。日常生活に直結する大変有意義なお話であり、皆様にとっても学びの多い時間になったのではないかと思います。

3月7日には第42回真岡ロータリークラブ杯真岡市小学生交流バレーボール大会を開催しました。こちらもサッカー大会と同様に、継続事業であり地域の子どもたちを応援しています。未来を担う世代への支援は、地域への最大の投資であると再認識しました。3月26日の外部卓話では、真岡市長中村様から「真岡市政にかける思い」と題した卓話をいただき、地域の未来について考える貴重な機会となりました。

4月2日には花見例会をフォーシーズン静風で開催しました。会長挨拶の際には、「室内なので花は見られませんが」と話してしまいましたが、テーブルの上には桜が飾られていました。自分自身の観察力の足りなさを実感しましたが、その後は和やかな雰囲気の中で楽しい花見例会を無事開催することができました。

2025年11月13日には、「行動目標、大きなインパクトをもたらす参加の輪」をテーマに炉辺会合を開催しました。テーマは少し広範ではありましたが、各班の座長から様々な意見や提案が出され、大変有意義な時間となりました。また、2026年5月21日には、本年度を振り返り、利点と改善点について話し合いました。こちらでも会員の皆様からの貴重な意見をいただき、改めて真岡ロータリークラブの力を感じる機会となりました。

私自身、会長に就任する際には、自分には務まらないと

思い何度もお断りしました。しかし、実際に1年間務めさせていただき、感じたことは、会員の皆様が一つにまとまり、常に支えてくださったからこそ前に進むことができたということです。この1年間を振り返り、皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。

また、米山奨学生として台湾からライヨウティン君をお迎えし、親善の輪を広げています。次世代を担う若者への支援も、私たちロータリークラブの大切な使命であると感じています。これからも頑張っています。

最後に、本年度は「原点回帰」のもと、親睦を深め、奉仕を実践し、国際交流を継続した一年となりました。70周年に向けた確かな一歩として、クラブの足元をしっかりと固めることができました。そして何より、この一年間の事業は、プログラム委員長をはじめとする委員会の皆様のご尽力によって組織されました。年間行事の大半は、委員会の皆様により毎月月初例会やその他の事業に対して真摯にかつ前向きに活動していただきました。会員皆様やご家族、関係者の皆様のお支えがあったからこそ、ここまで歩んでくることができました。心より感謝申し上げます。来週は最後の例会となりますが、坂本幹事とともに一年間大変お世話になったことに感謝いたします。次年度になれば、直前会長・幹事として渡邊会長、平石幹事のもとで、皆様のために尽力できればと思っていますので、引き続きお力をお借りしながらロータリー活動を進めていきたいと思いません。大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

■幹事総括

坂本 光 幹事

本年度、幹事を務めさせていただきました坂本です。大半のことは柳田会長がお話しされましたが、幹事としての総括をさせていただきます。

この幹事職を引き受けることになったのは、2023年11月の宇都宮でのお誘いがきっかけでした。当日は次年度の斗六ロータリー会長であるモリスも同席していました。おそらく、PP(過去会長)たちのお誘いによるもので、気づけば引き受けることになってしまったのです。

その後、6月19日には中川小金年度の最終例会も行われ、慌ただしく今年度が始まりました。さまざまなトラブルや予期せぬ事態がありましたが、その中で幹事として最終



のご挨拶をさせていただくという珍しい経験もしました。今年度は、会長方針の「原点回帰」を通じて、柳田会長のリーダーシップのもと、新しい大クラブへの第一歩を踏み出したと実感しています。初の女性会員増強や、時代に即した例会のあり方についても工夫を凝らしました。

また、会計監査も最終例会を残すのみですが、次年度には 100 万円前後の繰り越しが可能と見込んでいます。安田 SAA を始め、阿久津親睦委員長や PP 会員の皆様の多大なるご協力に心から感謝申し上げます。この一年間、柳田会長に支えられながら運営出来たことに感謝いたします。

■スマイルボックス(6月11日現在)

前回までのスマイル繰越金	716,000
会員	10,000
ビジター	0
本日のスマイル合計	10,000
スマイル今期累計	726,000
前回までの米山繰越金	19,815
本日の米山	0
米山今期累計	19,815

■月間予定出席者

在籍 48 名	出席免除者 1 名 (有資格者 1 名 + 有理由者 名)						
例会日	出席義務	事前 MU	事後 MU	出席者	内免除者	欠席者	出席率(%)
補正後 月 日							
本日 6月11日	47	2		33		14	70.21

■月間出席率 (%) ※例会欠席は前日 15 時までには必ず事務局までお知らせください。(TEL.0285-84-2511, FAX.84-2510)

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
80.68	73.49	65.43	70.59	82.61	73.19	78.72	71.63	68.09	71.63		